



アンサンブル・ノマド 第84回定期演奏会

2025

5/11 sun.

東京オペラシティ リサイタルホール

13:30開場 14:00開演



まなざし、あるいは差異の煌めき vol.1

打っ! そして弾けるリズム!!

プログラム

- J.ケージ：クレド・イン・アス (1942)
John Cage: Credo in Us
- 武満 徹：クロス・ハッチ (1982)
Toru Takemitsu: Cross Hatch
- A.ビニャオ：リフ (2006)
Alejandro Viñao: RIFF
- H.ゲッベルス：サロゲート ~ピアノ、
声と打楽器のための (2015)
Heiner Goebbels: Surrogate
- 三善 晃：響象 I、II
~2台ピアノのための (1984/1994)
Akira Miyoshi: Phenomene Sonore I & II
pour 2 pianos
- S.ライヒ：カルテット
~2つのピアノと2つのヴィブラフォンのための (2013)
Steve Reich: Quartet for 2 pianos and
2 vibraphones

※曲目は変更になる場合がございます。



出演者

Ensemble NOMAD

稲垣 聡・中川賢一 (pf)
加藤訓子・宮本典子 (perc)

Guest

DARTHREIDER (vo)

■チケット取り扱い

東京オペラシティチケットセンター Tel:03-5353-9999

アンサンブル・ノマド ウェブサイト

<http://www.ensemble-nomad.com/>

■お問い合わせ/キーノート Tel:0422-44-1165

Mail: keynote_music@fol.hi-ho.ne.jp

【前売】

一般¥4,000 / 大学生¥2,000 / 高校生以下¥1,000

【当日】

一般¥4,500 / 大学生¥2,500 / 高校生以下¥1,500

(就学前のお子様の同伴・ご来場はご遠慮下さい)



主催 / 一般社団法人 アンサンブル・ノマド

助成 / 公益財団法人 ロームミュージックファンデーション

NOMURA 野村財団

公益財団法人 朝日新聞文化財団

アンサンブル・ノマド 第84回定期演奏会



まなざし、あるいは差異の煌めき vol.1

打っ! そして弾けるリズム!!

アンサンブル・ノマド定期演奏会では2021年の第73回に弦楽器メンバー、第78回には管楽器のメンバーを中心にしたプログラムを行ったが、今回はピアノと打楽器の4人のメンバーによるプログラムを、満を持して行う。百戦錬磨の4人のメンバーが頭を突合せて完成させた凝りに凝ったラインアップは、ゲストにラップのダースレイダーを迎え唯一無二のひとときとなるに違いない。

佐藤 紀雄

Ensemble NOMAD



© Maki Takagi



© Chopalisz/Mariko TAYA

稲垣 聡 (pf)



© Shuhei NEZU

中川賢一 (pf)



© Michiyuki Ohba

加藤訓子 (perc)



宮本典子 (perc)

Guests

音響：磯部英彬



DARTHREIDER (vo)

Ensemble NOMAD

1997年、ギタリスト佐藤紀雄の呼びかけによって集まった、無類の個性豊かな演奏家によって結成されたアンサンブル。「NOMAD」(遊牧、漂流)の名にふさわしく、時代やジャンルを超えた幅広いレパートリーを自在に採り上げ、斬新なアイデアやテーマによるプログラムによって独自の世界を表現するアンサンブルとして内外から注目されてきた。2002年度に行った第15回定期演奏会「ケージとメシアンの間で交わす自然と宇宙に関する往復書簡」は大きな反響をよび、サントリー音楽財団「第2回佐治敬三賞」を、2014年度に行った第52回定期演奏会「再生へvol.3:祈り~エストニアから震災復興を祈るコンサート」により「第3回ウィーン・フィル&サントリー音楽復興祈念賞」を受賞した。海外からの招待も多く、2000年オランダの「ガウデアムス音楽週間」、2003年ベネズエラで行なわれた「フェスティバル・アテンポ」、2005年11月パリで行われた「フェスティバル・アテンポ」およびイギリスの「ハダースフィールド現代音楽祭」、2007年にはメキシコの「モレリア音楽祭」、また2008年10月にはソウルでの「パン・ムジーク・フェスティバル」などに出演。2009年秋には、中国の北京首都師範大学、北京中央音楽学院、四川音楽学院で中国人作品を中心としたプログラムの公演を行ない、好評を博した。2011年には2度目の韓国公演を開催。2013年7月にはエストニアとオランダで公演を開催。2014年にはメキシコの「セルバンティーノ音楽祭」に日本を代表するアンサンブルの1つとして招聘された。2015年12月に再び中国四川公演を行い、2020年には「ライブツィヒ現代音楽祭」にonlineで参加。2023年11月には3度目の四川公演を行った。今後もブラジルやフランス、メキシコなどでの公演を予定している。また、近年ではアウトリーチ活動にも積極的に取り組み、保育所、病院、小学校、特別支援学校等で訪問コンサートやワークショップを行なっている。

CDは、これまで近藤 譲「梶子」、「空の眺め」、「オリエント・オリエンテーション」、「表面・奥行き・色彩」、石田秀実「神聖な杜の湿り気を運ぶもの」、池辺晋一郎「炎の資格」、福士則夫「花降る森」が発売されている他、藤倉 大の「Turtle Totem」、「Diamond Dust」、「Glorious Clouds」にもライブ録音が収録されている。海外では2011年秋にエベルト・バスケスの「Bestiario (動物寓話集)」、2015年秋に「Pruebas de vida (生命の証)」がリリースされている。2014年にはオリジナル・アルバム「めぐる—Meguru」を発売。2015年夏から秋にかけて発売された「現代中国の作曲家たち」シリーズは、レコード芸術誌の特選盤や朝日新聞の「for your collection」推薦盤に選ばれている。

公式ウェブサイト: www.ensemble-nomad.com/



東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティB1F
Tel: 03-5353-0788 京王新線「初台駅」東口下車徒歩3分

Photos (表): © Michiyuki Ohba (加藤訓子) © bozzo (中川賢一)